

2015年11月27日

パブリックコメント版

**塩谷町人口ビジョン・
塩谷町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(案)**

**平成 27 年 11 月
塩谷町**

(表紙裏 白紙)

目次

はじめに

塩谷町人口ビジョン

第1章 人口動向分析

1. 時系列による人口動向分析	
(1) 総人口の推移と将来推計	1
(2) 年齢3区分別人口の推移	2
(3) 自然増減・社会増減の推移	3
(4) 総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響	4
2. 年齢階級別の人口移動分析	
(1) 年齢階級別の人口移動の長期的な状況	5
(2) 性別・年齢階級別の人口移動の長期的な状況	6
(3) 性別・年齢階級別の人口移動の最近の状況	8
(4) 県内外の年齢階級別の人口移動の最近の状況	9
(5) 転入元自治体別の転入数の状況	10
(6) 転出先自治体別の転出数の状況	11
3. 合計特殊出生率等の推移	
(1) 合計特殊出生率の推移	12
(2) 15～49歳女性人口の推移	13
(3) 性別・年齢階級別未婚率の推移	14
(4) 母の年齢階級別出生率の推移	15
4. 雇用や就労等に関する分析	
(1) 男女別産業別就業人口の状況	16
(2) 男女別・年齢階級別産業別就業人口の状況	17

第2章 将来人口推計

1. 将来人口推計	
(1) 国の手引きにおける基本的なパターン・シミュレーションの比較	20
(2) 人口減少段階の分析	21
(3) 将来人口に及ぼす自然増減、社会増減の影響度の分析	22
2. 将来人口のシミュレーション	
(1) 出生率の上昇の違いによる将来人口の比較	23
(2) 移動の状況の改善の違いによる将来人口の比較	25
(3) 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析	27

第3章 人口の将来展望

1. 目指すべき将来の方向	
(1) 現状と課題の整理	28
(2) 基本姿勢	29
(3) 目指すべき将来の方向	29
2. 人口の将来展望	
(1) 将来目標人口	30
(2) 将来目標人口における人口構成の見通し	32

塩谷町まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 塩谷町の地域特性	
(1) 塩谷町の地域特性	1
2. 目指すべき将来の方向（ターゲット）と基本目標（地域ミッション）	
(1) 目指すべき将来の方向（ターゲット）と基本目標（地域ミッション）	3
(2) PDCAサイクルによる進捗管理	4
3. 基本目標（地域ミッション）と具体的な施策（地域アクション）	
(1) 基本目標1 既存産業の新たな連携や新事業等による安定した雇用を創出し、若年層の転出を抑える	5
(2) 基本目標2 安定した雇用を確保するとともに生活環境を改善し、子育て世帯の転出を抑え、転入を増やす	9
(3) 基本目標3 塩谷町ならではの魅力やライフスタイルを創り出すとともに発信し、U・Iターン者の転入を増やす	14

はじめに

人口ビジョン・総合戦略の趣旨

人口の東京一極集中に伴い、地方の人口減少と地域経済縮小の克服、並びにまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、平成 26 年 11 月 28 日に「まち・ひと・しごと創生法」が公布され、同年 12 月 27 日に国の「長期ビジョン」及び「総合戦略」が閣議決定されました。これにより、地方自治体においても地方版総合戦略の策定の努力義務が課され、今後、ますます地方の自立性や特色を活かした施策を講じていくことが求められています。

本町においても、人口減少、少子高齢化が進む中で、このまま対策を講じなければ 2040 年には現在の人口（約 12,000 人）の 6 割程度まで減少するという危機的状況が迫っており、人口減少に歯止めをかけるため、本町からの転出を抑制し、定住促進を図る戦略づくりが求められています。

このため、本町の人口が減少する要因を十分に把握し、本町の特性に合った独自の施策を展開することが重要であり、本町では、国の「長期ビジョン」及び「総合戦略」を踏まえ、「塩谷町人口ビジョン」及び「塩谷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少の克服とまち・ひと・しごとの創生に取り組んでいきます。

人口ビジョン・総合戦略の位置づけ

本町では、平成 23 年 3 月に平成 32 年度を目標年度として第 5 次塩谷町振興計画を策定しました。

振興計画では、将来目標人口について、人口減少の抑制に努めることによる平成 32 年度の目標人口を 12,500 人と設定していますが、平成 27 年 9 月 1 日現在で住民基本台帳に基づく日本人人口は 12,057 人、総人口は 12,123 人となっており、振興計画における目標人口を既に下回っています。「塩谷町人口ビジョン」では、この人口減少傾向が加速している中で、人口減少傾向に歯止めをかけるため、過去の人口動向や将来人口推計等の分析を踏まえ、より長期的に目指すべき将来目標人口を定めるものです。

また、振興計画では、①人口減少への対応、②豊かな自然の保全、③産業の活性化と就業の場の確保、④保健・医療・福祉の充実、⑤多様な主体による協働のまちづくりの推進、⑥自立した自治体経営の推進を本町の基本課題と捉え、将来像『豊かな自然に生まれ 人と人がつながり安全安心に暮らせる塩谷町』の実現に向けた施策を展開しています。

「塩谷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、上記の振興計画の内容を踏まえながら、まち・ひと・しごとの創生に主眼を置き、横断的な視点からまち・ひと・しごとの創生及び人口減少の克服に資する施策・事業等を推進するものであり、町の最上位計画である塩谷町振興計画の見直しも含めて策定するものです。

総合戦略推進にあたっての基本姿勢

本町の人口減少に歯止めをかけるためには、地域の資源を多様な主体の連携により最大限に活用し、根本的課題を解決していくことが必要です。これらの取組みをスピード感を持って、効果的、持続的に講じていくため、以下の基本姿勢のもと総合戦略を推進していきます。

地域の現状を踏まえ、早急に重点的に対応が必要な取組みを総合戦略としてまとめ、確実に実行していきます

「地方創生」は「地域が元気になること」であり、自立した元気な地域を数十年先へ受け継ぐために、この将来への投資として5年間で取り組むべきことを実行していきます

行政だけでなく、住民や企業等、地域全体が自ら動き、主役になるための具体的な方法論を明確にします

計画期間

「塩谷町人口ビジョン」は、平成 27 年度から平成 72 年度までの 45 年間の計画期間として将来目標人口を定めるとともに、「塩谷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間の計画期間とし、人口減少の克服及びまち・ひと・しごとの創生に向けた初動として取り組み、将来へ活力ある塩谷町を受け継いでいくための持続可能な仕組みや仕掛けを 5 年間で構築していきます。



